

会 議 録

日 時	平成 26 年 12 月 19 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	青梅市役所
会議名	第 7 回大垣市新庁舎建設基本構想策定委員会
内 容	1 先進地に学ぶ新庁舎について 2 その他
出席者 (敬称略)	（委員）【計 8 名】 竹内治彦、高木朗義、竹中昌子、長瀬ちえ子、名和哲彦、橋川実、池田繁行、 松口小夜子 （大垣市）【計 4 名】 川合幸典（総務部長）、奥村公彦（庁舎建設推進室長）、安田佳樹（庁舎建設推進室主幹）、 小川健志（庁舎建設推進室主査）
欠席者	（委員）【計 6 名】 吉田茂樹、小倉利之、堤俊彦、松永大介、松本正平、高田美穂
事務局	ただいまから青梅市新庁舎視察を始めさせていただきます。 では、大垣市新庁舎建設基本構想策定委員会の竹内会長から一言、ご挨拶並びに司会進行を よろしく願います。
会長	当委員会の会長を務めております竹内でございます。よろしく願います。 本日、お忙しい中、視察を快諾して頂きました青梅市の方に一言お礼を申し上げたいと存じ ます。 私ども「大垣市新庁舎建設基本構想策定委員会」は、今年6月より大垣市新庁舎建設にむけ、 学識経験者、市民団体の代表者等からなる14人の委員で「基本構想策定」のため協議を行っ ております。 本日で7回目の会議になりますが、前回までに、現大垣市庁舎の現状から始まり、未来の新 庁舎へ求める基本理念や方針などを検討してきたわけですが、今回、先進地に学ぶ新庁舎と いうことで、青梅市さんにお邪魔させていただきましたので、よろしく願いたいと思ひ ます。 それでは、はじめに青梅市総務課長様よりご挨拶をいただきたいと思ひます。
青梅市	<挨拶>

会長	それでは早速、「先進地に学ぶ新庁舎について」ということで、説明をよろしくお願ひしたいと思ひます。
青梅市	本日は、はじめに新庁舎に関するご紹介をした後、庁舎内のほうを見学していただき、最後に質疑応答の時間をもたせていただきたいと思ひます。
青梅市	～完成までの経緯、庁舎概要、現在使用状況等を説明～  ＜説明を受けた後、青梅市役所内を現地視察＞ 【視察場所：議場、防災本部室、食堂、休憩室、執務室、窓口、トイレなど】
会長	ありがとうございました。 その他、最新の庁舎を見学させていただきました、せっかくですので、他にご質問がありましたら、よろしくお願ひします。
委員	誰もが利用しやすいユニバーサルな庁舎の特徴ということで、音声誘導システムは、入口に入ってから椅子に座るまでですね？
青梅市	来庁者のご案内は総合案内窓口までとなります。この設備は白杖認識音声誘導システムといひまして、玄関に白い杖を持った方が近付いてきますと、カメラで認識しまして、音声案内が出ます。その音声案内は、内側と外側にも流れまして、総合案内の者が、目の不自由な方が来たのが分かる訳です。その音声案内に従ってきますと、総合案内の者が準備をしており、直に案内をするという形です。
委員	費用はどれくらい掛かるのでしょうか？
青梅市	開発のときの費用となるので、表には出てきておりません。NECさんと音響機器メーカーのTOAさんが、当市の庁舎用に開発したシステムです。当時では試験的だったこともありましたが、それでも結構なお金は掛かったようですが、今はもっと精度も上がって、安くなっているとのことです。費用がどれくらいかということについては分かりません。

委員	<p>いただきました視察資料の中で、建設関係の事業費について、旧庁舎の解体料が約6億円のうちどれだけだったかということと、9億5,000万円の中で、引越料はどれだけだったかをお尋ねしたいと思います。また、意思決定について、建設特別委員会と建設検討委員会がありますが、特別委員会の方が回数は多く、検討委員会は5回程やっていますが、特別委員会のメンバーは市役所の内部の方で、我々のような外部の方は検討委員会に入るのか、その辺りをお聞きしたいと思います。</p>
青梅市	<p>では、先に検討委員会と特別委員会の違いですが、特別委員会は議会の特別委員会に該当します。ですので、特別委員会のメンバーは議員さんで、検討委員会については職員となっています。アイデアや案については、両方が市長に報告して指示を仰ぐという形を採っておりました。</p>
青梅市	<p>解体費用については9,000万円弱で、移転費用(引越)については■■■■です。移転費用は、この倍くらいの入札もありましたが、入札で(価格を)かなり落としてきました。引越先も隣の庁舎でしたので、橋を作りまして、運べるものは職員で運ぶということもあり、安く上がったというのもあります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>市庁舎の建替えのときに、市民の皆さんへの情報発信の仕方でも気にされたことや、どういう方針でやっていたかをお聞かせ下さい。</p>
青梅市	<p>お恥ずかしい話ですが、当初、平成5年に構想ができましたが、その時には市民の方の意見を聴くという考え方がなく、そのまま基本構想ができました。その後、基本設計ができた後、平成8年に(計画が)頓挫してしまいました。</p> <p>その後、平成11年に前の基本構想を引き継ぐ形で、再度基本構想を作ったということで、構想を作る中では市民の方の意見は入っていません。</p>
青梅市	<p>市庁舎建設に係る市民説明会のようなものを何回か開催したのと、市長が毎年懇談会をやっていますが、その中で市庁舎に関する意見が出たので、それを受け入れながら、基本構想ないし基本設計に活かしていったということはありません。</p>

委員	説明会というのは、基本構想ができた段階で、市民の皆さんへの説明会のようなものをされたということですか？
青梅市	基本構想のときはありませんでした。基本設計からです。
青梅市	プロポーザル方式での設計者の選定を行いましたので、選ばれた設計案を説明して意見を伺い、基本設計に活かして、基本設計ができた段階でまた説明会を開いて意見を伺ったという形です。
青梅市	説明会をして、その意見を次の説明会の内容に盛り込んでいくというのが主なやり方です。
委員	ありがとうございました。
事務局	2階に執務スペースを設けず、市民のコミュニティスペースにされたのは、何か理由があるのでしょうか？
青梅市	特に2階をとという訳ではありませんが、防災拠点となるようにということで庁舎を造りました。通常は間を仕切って会議室、喫茶スペースと行政コーナーというふうにしていますが、何かの時にはここが災害対策用になるように、執務スペースは設けておりません。
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先進の新庁舎を見学させていただき、具体的なイメージもつかむことができ、大変、有意義な視察になりました。</p> <p>本日の視察内容を踏まえて、我々としましても、大垣市新庁舎建設基本構想について、提言していきたいと思います。</p> <p>本日は、どうも、ありがとうございました。</p>